



福津市議会議員



石田まなみNEWS

2025 年春号

討議資料

発行日：2025年4月20日
発行：石田まなみ後援会
福津市東福岡3-2-1
☎0940-72-5188

【2025年3月議会（3月11日～28日）の報告】

1. 教育長が決定しました

新教育長 薄 俊哉さん

2. 3月議会では 35 議案について審議しました

その中でも、特に気になった議案が下の2つです。

●「こども誰でも通園制度」導入のための条例制定

【議案の説明】

生後6ヶ月から満3歳までの子どもを、月10時間まで保育園に預けることができる。
2026年度開始の国の政策。

インダの気になるところ

条例制定後に各園への説明と子ども受け入れのお願いをするという説明がありました。他の自治体が少子化に直面する中で福津市の状況は異なるため、条例制定前に園へのヒアリングを実施すべきとして**反対**します。

●国民健康保険税条例の改定の議案

【結果：賛成多数】

【議案の説明】

福岡県内の保険料水準統一化に向けて、県が示す基準に合わせていくための条例改正。

インダの気になるところ

国民健康保険税はもともと高く、ここ数年据え置かれていましたが、今後の県内統一化による値上げが懸念されます。さらに、2026年度から「子ども・子育て支援金」も課される予定であり、これに**反対**します。

【結果：賛成多数】

3. 国に対する意見書の提出を、2つ提案しました

「中学校、高等学校においても、35人学級となる少人数制学級、定数改善」と「義務教育費国庫負担割合制度の2分の1復元」を求める意見書の提出について。
※石田は**提案議員**です。

【意見書の提出理由は？】

小学校では、2025年度で6学年まで35人学級となる。少人数制の促進は中学校や高校にも必要であり、教育費の国庫負担割合が3分の1に減額され、非正規職員が増加している。教育の充実させるために、意見書を国に提出する。

再審法改正を求める意見書の提出について。
※石田は**賛成議員**（提案者は秦議員）です。

【意見書の提出理由は？】

再審申請から裁判までに多くの年月がかかり、えん罪を受けた人はその間に仕事を失ったり、家族と別れたりする。再審で無罪になっても社会的な不利益を受けることがある。時間は取り戻せないため、再審請求が迅速に行えるよう法改正を求める意見書を提出する。

<一般質問>

①がん教育をはじめとする心と体の健康増進や命の大切さを伝える取り組みについて

福津市では、満 21 歳を迎える女性に対して、子宮頸がん検診の無料クーポンを送付していますが、実際の利用率は？

【市の答弁】

毎年、10%未満の利用率です。

中学校で実施している「妊娠出産知識の学習」は、どこの担当部署がどんな目的でされていますか。

【市の答弁】

担当は男女共同参画推進室です。将来、家庭を持った時に、お互いの性を尊重し、思いやることができる夫婦関係が築けるようになること、講師に助産師を招いて、正しい妊娠出産の知識を学習するという目的で行っています。また、ネット上で様々な情報が氾濫していますが、正しい知識を得ることと、学ぶだけでなく、必要に応じて専門家に相談することの大事さも伝えています。

中学生の反応はどうでしたか？

【市の答弁】

2024 年度は、赤ちゃんが実際に学校にきて、生徒が抱っこする機会もあったので、命の大切さや、子育ての難しさを知ったという意見が多くありました。

(右上に続く)



保護者も参加していたそうですが

【市の答弁】

第 2 次成長期を迎える子どもたちは、自分の体がどんどん変化していくことに戸惑ったり、不安を抱えていることもあるので、家庭で命について会話をするきっかけづくりや、その会話を通じて子どもがさらに自尊感情を育むことができるようにと、学習会への保護者参加を取り入れています。

その他にも国が勧めている「がん教育」や「生命（いのち）の安全教育」も、実際に学校教育に組み込まれていますが、詳細を教えてください。

【市の答弁】

がん教育は学習指導要領に基づいて、小学校高学年や中学校 2 年生の体育科保健領域で学習をしています。「生命（いのち）の安全教育」は学習指導要領に規定されてはいませんが、性犯罪暴力対策の強化の方針をふまえた授業になっています。

いじめや、いじめが原因となる不登校も、深刻な問題です。命の大切さを知ることはいじめをやめようという意識につながるよう、がん教育や妊娠出産の学習など、担当部署が違っていても、学びのプロジェクト化として、連携を図ってはどうでしょうか。

【市の答弁】

命の大切さを知ることによって、自分にも、他人にも優しくなれる、そのためにもいろいろなプログラムなどと連携を図る必要があると思っています。

一般質問に対する

イシダの考え



子宮頸がん検診を含む、がん検診などの受診率がなかなか伸びないことが、福津市の課題の1つでもあります。

それならば、学校の学習の中で、自分の命を守ることの大事さを学ぶ機会があればいいのでは、と調べていくうちに、「がん教育」「生命（いのち）の安全教育」「妊娠出産知識の学習」を実際に行っているということを知りました。

また、民間の団体の中には、子どもの権利に基づいて、自分の命を守る「CAP プログラム」を教える「にじいろ CAP（久留米市）」や、思いがけない妊娠をしたときの相談を受ける団体「にんしん 110 番 Link」があります。こうした団体とも連携を図って学習すれば、将来自分の体を守るためにがん検診などを受けることにもつながるのではないかと思います、今回の一般質問にしました。

参議院選挙 福岡県選挙区 公認候補予定 なす敬子さんを応援しています

Profile

1959 年福岡生まれ 春日市在住
福岡県立修猷館高校卒業
九州大学教育学部卒業
九州大学大学院教育学研究科修了
福岡県内の県立高等学校で、社会科教諭として 40 年勤務
特技は琴（生田流筑紫会大師範）



福岡高校や筑紫中央高校、
イシダの母校の糸島高校
にも赴任していました。

福岡の県立高校や特別支援学校で教壇に立ちながら、教育現場や子どもたちの抱えるさまざまな問題を体感してきました。

教育現場の抜本的改善、大学までの教育費の「完全無償化」、介護保険制度の充実、そしてジェンダー平等社会の実現を訴えています。



4月5日 JR博多駅筑紫口での街頭演説

実際に会って話をしたら、とても
あたたかく包んでくれる、まさに
担任の先生のような、なす敬子
さんです。また、しっかりとした
芯を持っているところも、尊敬し
ます。



3月23日(日) 久末区の久末萬藤邸で、オカリナコンサートがありました。

築 140 年の古民家の大広間に 50 人以上の地域の方が集まりました。演奏者は津屋崎を中心に音楽活動をしている児玉麻紀さんでした。

オカリナの素朴な音色が広がって、気持ちのいい、春の午後のひとときとなりました。

この日の入場料は、市内でフードパントリーをしている「幸せの運び屋 ふくふくFOODS」へ全額寄付されました。



奏者の児玉麻紀さん



来場された方に話を伺うと、「オカリナの音色に癒されました。参加することで社会貢献にもつながる素晴らしい企画ですね。」という感想をいただきました。



女性のための災害対策ハンドブックができました

東京都板橋区の事例を一般質問などを通じて、男女共同参画推進室に提案したところ、女性の視点を取り入れた「災害対策ハンドブック」の作成に取り組むことになりました。

実際の進め方としては、市民の皆さんからメンバーを募ってワーキング会議を 4 回開催し、みんなの意見を集約して作成しました。

福津市のホームページから
データをダウンロードできます



災害対策ハンドブックの表紙

そしてこの災害対策ハンドブックを持って、4月1日に津屋崎の旧糺屋で開催された「ついたちの会」で、集まった地域の方に報告を兼ねたお話し会を開きました。

いざという時のために何を備えたらいいのか、災害用のものでなくても、家庭にあるもので代用できることなど、これまでにいろんな講習会で聞いてきたアイデアを盛り込んで、お話をしてきました。

会場からは、ハンドブックをお友達に配りたいと嬉しい声をいただきました。

また、折りたたみ式のヘルメット、リュックの上から羽織ることができるパーカーなどに興味をもたれていました。



説明をするインダ（左）